

原子力発電所の運転および建設状況等

原子力安全対策課 平成15年9月4日現在

設備容量	運転中 13基 計1128.5万kW
	建設中 1基 計 28.0万kW

1. 運転または建設中の発電所

項 目		現 状	稼働率（進捗率）%		概 要
発電所名			平成15年度	運開後累計	
日本原子力発電(株)	1号機	定期検査中 (調整運転中)	63.5 62.8	68.6 65.7	第28回定期検査(H15.6.14～9.4予定) H15.6.14 0 発電停止。8.7 9 原子炉起動。8.7 10 57' 臨界。 8.9 9 調整運転開始。9.4 営業運転再開予定。 原子炉起動後より非常用復水器(A)の胴側温度が上昇傾向を示し、 復水出口弁のシールが原因と推定されたため、8.21 9 当該復水器 を待機除外として出口弁の増締等の調整作業を実施したところ、 胴側温度の改善傾向が確認され、8.28 16 待機状態に復帰。 (添付資料参照) 第13回定期検査(H15.9.5～11月上旬) H15.9.5 0 発電停止予定
	2号機	運 転 中	100.0 102.7	83.2 82.8	
	核燃料サイクル開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	——	
関 西 電 力 (株) 美 浜 発 電 所	1号機	運 転 中	100.0 101.9	53.1 50.3	
	2号機	運 転 中	100.0 98.9	62.3 60.6	
	3号機	運 転 中	72.1 72.2	75.7 74.3	
関 西 電 力 (株) 大 飯 発 電 所	1号機	運 転 中	66.3 65.7	64.8 63.7	
	2号機	運 転 中	100.0 101.4	72.1 71.0	
	3号機	運 転 中	100.0 101.8	88.7 88.3	
	4号機	運 転 中	68.1 68.8	85.3 85.1	第8回定期検査(H15.6.13～8.26) H15.6.13 0 発電停止。7.30 15 30' 原子炉起動。7.30 20 20' 臨界。 7.31 20 37' 調整運転開始。8.3 4 10' 原子炉熱出力運転管理目標 値到達(電気出力101.2%)。8.26 14 営業運転再開。
関 西 電 力 (株) 高 浜 発 電 所	1号機	運 転 中	100.0 104.5	67.1 65.6	
	2号機	定期検査中	80.4 83.3	68.4 66.7	第21回定期検査(H15.8.1～11月中旬) H15.8.1 23 発電停止。
	3号機	運 転 中	100.0 103.8	85.3 85.0	
	4号機	運 転 中	67.3 68.4	84.9 84.5	
		合 計	86.0 87.5	70.9 72.1	(注1) 稼働率(進捗率)は平成15年8月末現在。累計は営業運転開始以降。 (注2) 稼働率の合計は、「ふげん」を除いた計算値。 (注3) 県内で運転中の原子炉13基は、全て定格熱出力一定運転導入済。

2. 運転を終了した発電所

項 目		現 状	稼働期間	稼働率累計 %	概 要
発電所名					
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所 (設備容量： 16.5万kW)		廃止措置準備中 定期検査中	運転開始 S54. 3.20 運転終了 H15. 3.29	6 3 . 8 6 2 . 2	第18回定期検査(H15.6.27～H16.3月末)。 8.14 原子炉からの燃料取り出し作業終了。 7.4 廃棄物処理建屋焼却灰取出室の火災警報が発報。焼却灰排出ダ クトの覗き窓が破損し、焼却灰の一部が室内に飛散。原因は可燃性の 熱分解灰が冷却ダクト内に蓄積し燃焼したことにより、排出ダクト内 の圧力が上昇したものと推定。対策として熱分解灰の冷却ダクトへの 流入防止機能の強化や、運転手順書の見直し等を行う。

稼働率上段が、時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$ 下段が、設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

< 本件に関する問い合わせ先 > 原子力安全対策課(担当：宮川)
(県庁内線)2353(直通)0776-20-0314 <http://www.atom.pref.fukui.jp/>